

## 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等に関するヒアリング議事録

## ヒアリング実施概要

区分	団 体		ヒアリング実施時期
関係行政機関	三重県	環境森林部自然環境室 自然共生G	平成 23 年 7 月 19 日
		伊勢農林水産商工環境事務所 森林・林業室	平成 23 年 10 月 26 日
	伊勢市	都市整備部維持課	平成 23 年 10 月 26 日
	鳥羽市	観光課	平成 23 年 9 月 14 日
	志摩市	商工観光部観光戦略室	平成 23 年 9 月 14 日
	南伊勢町	観光商工課観光交流室	平成 23 年 9 月 13 日
地元関係団体	志摩自然学校		平成 23 年 9 月 13 日
	海島遊民くらぶ		平成 23 年 9 月 15 日
	南伊勢体験ワールド		平成 23 年 9 月 13 日
	NPO法人南勢テクテク会		平成 23 年 8 月 31 日
	島の旅社推進協議会		平成 23 年 9 月 15 日
	鳥羽ガイドボランティアの会		平成 23 年 9 月 14 日

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所		受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務		整理番号	
出席者	委託者	福田幸正整備計画専門官	日時	平成23年7月19日(火) 18:15~19:15
	ヒアリング先	三重県環境森林部自然環境室 自然共生G 伊川智之技師	場所	三重県庁
	受託者	いであ(株): 神宮、望月	打合方式	会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、三重県の国立公園内の近畿自然歩道の現状、課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

<現状>

- ・腐朽してボロボロになった階段、倒れかかった標識がある。
- ・土地所有の関係で、必要に場所にもかかわらず標識を建てられないことがある。
- ・予算が減少する中で、維持管理費の確保が困難な状態にある。耐用年数が短い木製品を頻繁にリニューアルできない状況にある。
- ・近畿自然歩道にかんして、志摩市からの問い合わせが多い。南伊勢町からは特に問い合わせはない。

<方針・計画等>

- ・近畿自然歩道に関する県の方針をあえて言うなら、今までの施設を維持すること。
- ・登山道では自己責任の考え方があがるが、長距離自然歩道ではけがをされた方に対する責任がある。階段が多いことやロープが設置されている場所があるなど長距離自然歩道としてふさわしいのか疑問のヶ所もある。
- ・自然保護と施設整備は相反していることもあり、どこまで整備していいのか、判断が難しい場合がある。

<利用>

- ・利用者は緩やかに増加している。
- ・県外の利用者から問い合わせがある。特に大阪及び名古屋からの問い合わせが多い。

<施設整備>

- ・交付金を使って、自然公園外の多気町で新規のトイレ整備を行っている。また、平成22年度には、国立公園外の長距離自然歩道について、今年度からの整備の計画を策定している。
- ・三重県では、長距離自然歩道の箱ものや歩道を財産として取り扱っている。橋や丸太階段は歩道自体ととらえ、標識は付帯施設という位置づけである。こういったことから、標識については複雑な手続きを踏まず三重県にかわって国が施設を整備しやすいのではないか。

<維持管理>

- ・維持管理は、地元自治体に委託している。限られた予算の中でどのように維持管理を行うのが課題である。
- ・維持管理の予算が削られており、パトロールの回数が減少している。
- ・近畿自然歩道維持業務の委託料をお支払いしているが、各自自治体が持ち出しで維持管理しているのではないか？園地の施設については各自自治体の予算で維持管理することとなっている。
- ・一連の歩道のなかで、管理者が細切れになってしまうのは良くない。

<関連計画>

- ・平成21年度及び平成22年度に長距離自然歩道の調査を実施している。
- ・ウォーキング60については把握していなかった。60のコースを冊子にまとめているが、施設の整備は行われていないのではないか。

- ・熊野古道は、熊野古道対策室が整備している。

<要望>

- ・国立公園内の施設については、国に譲渡するのが理想であるが、現状では難しいので、施設整備と維持管理に関して国の補助を頂けないかと考えている。

(受領資料)

- ・平成 16～21 年長距離自然歩道利用者数
- ・伊勢志摩国立公園内の近畿自然歩道維持業務委託一覧

(借用資料)

- ・平成 22 年長距離自然歩道巡回調査（伊勢志摩国立公園内）（DVD）

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所		受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務		整理番号	
出席者	委託者		日時	平成23年10月26日(水) 15:00～16:00
	ヒアリング先	三重県伊勢農林水産商工環境事務所 森 林・林業室：山本敏弘氏	場所	三重県伊勢庁舎
	受託者	いであ(株)：青井、松田	打合方式	会議・電話

### (ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

### (ヒアリング結果)

- ・一部私的な意見もあることをご理解いただきたい。

### <活動概要>

- ・三重県環境森林部が予算管理等の内業を行い、何か生じた場合の現地調査等を伊勢農林水産商工環境事務所が行う。
- ・当初(平成9年～)の整備は、環境森林部が環境省から予算を確保し、伊勢農林水産商工環境事務所から発注していた。
- ・対象範囲は伊勢志摩国立公園内の近畿自然歩道全体である。
- ・毎年、次年度の近畿自然歩道関連予算の確保のため、各市町に修理の要望等をヒアリングしている。しかし、予算は減少しており、現在は微々たるものである。

### <施設状況>

- ・近畿自然歩道関連事業については、台帳がきちんと整備されていないのが問題である。探せば出てくるものもあるが、きちんと整理されていない。
- ・公道以外の土砂崩れ等の補修は、予算や発注手続きの関係でほとんど修繕できていないのが現状である。

### <利用状況>

- ・具体的に利用状況を把握しているわけではないが、近畿自然歩道としての利用者はほとんどいないと思う。
- ・近畿自然歩道としての利用者は少ないので、現ルートは“近畿自然歩道”にこだわるのではなく、“伊勢志摩国立公園”の知名度を利用して“伊勢志摩国立公園内の散策路”として活用すれば良いと思う。

### <維持管理>

- ・近畿自然歩道のルートを指定した際に、元々あった道を歩道にしている部分が多いので、歩道の管理主体がはっきりしない。特に、公道を歩道に指定している部分はより不明確である。東海自然歩道の場合は、県で道を整備したものが多く、県に責任があると感じているが、近畿自然歩道の場合は既存の道路や登山道がほとんどなので、事故等が起きた際の責任がはっきりしないことが問題である。
- ・三重県で近畿自然歩道として保険をかけていると思うが、実際に事故が生じた場合、どこまでを近畿自然歩道として認定してもらえるかわからない。
- ・近畿自然歩道は自然歩道なので、事故等が起きた際の責任はあくまでも自己責任であることを環境省から公言してほしい。
- ・国立公園内だけでも国で修繕等の経費を出して欲しい。

- 自然公園法に関して、「三重県が執行する」という契約を国と結んでいたと記憶している。
- 公道は各自治体の土木部局の管理下にある。
- 予算が少なくなり修繕費もあまり出せないなので、発注したとしても、発注手続きの手間ばかりが増えてしまい今後更に動きにくくなるだろう。修繕等が必要な場合に簡単に直せるような体制が必要だと思う。  
例) 地元自治会が修繕できるようにする、環境省が直接修繕する等
- 近畿自然歩道の管理者は、利用目的によって変える必要があるのではないかと。観光資源、観光目的に利用するなら地元に任せた方がよいのではないかと。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所	受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務	整理番号	
出席者	委託者	日時	平成23年10月26日(水) 13:00～14:00
	ヒアリング先	場所	伊勢市役所
	受託者	伊勢市都市整備部維持課：東條正和氏	打合方式

**(ヒアリングの概要)**

・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

**(ヒアリング結果)**

**<活動概要>**

・伊勢市では、三重県からの管理委託を受けて、近畿自然歩道の維持・補修を行っている。

**<施設状況>**

**(全般)**

- ・全体的に施設や看板の老朽化が目立つ。一度手直しして欲しい。
- ・社会的ニーズや自然の意識が強い場所を集中的に整備して欲しい。

**<利用状況>**

**(全般)**

- ・伊勢市への近畿自然歩道に関する問い合わせは年に1件あるかないかである。その際挙げられる意見も、看板が見えにくい、看板が古いといった内容である。
- ・近畿自然歩道を認識して歩いている人はほとんどいないと思われる。  
(お伊勢さんを感じるみち・御塩づくりにふれるみち)
- ・特に苦情・要望等ない。近畿自然歩道として意識して歩いている人もほとんどいないと思われる。  
(朝熊山)
- ・朝熊山ふもとの「であいの広場」は、土日になると駐車場付近が渋滞する。駐車場に入り切らない車が路上駐車する場合もあり、付近の道が狭いので、地元から駐車場を広げて欲しいという要望がある。
- ・朝熊山登山道利用者は県内の方が多いが、県外からも来ている。
- ・朝熊岳道は近畿自然歩道というより、金剛證寺の登山道として利用している人が多い。

**<維持管理>**

**(全般)**

- ・三重県からはルートへの指示しかなく、台帳等ないため、ルート沿いの施設をパトロールで見ている。
- ・パトロールの報告は文書でいただいている(写真は添付されない)。
- ・パトロール報告書を基に、必要に応じて市の職員が現地を確認している。
- ・修繕が必要な箇所が生じたら三重県環境森林部に相談し、見積を提出し修繕するか協議する。修繕する場合は管理委託費に修繕費が追加される。県との協議で修繕費が出ない場合はそのままである。
- ・伊勢市としては費用の問題もあり、今は“維持”がメインとなっている。
- ・歴史資源等は豊富でポテンシャルは高いため、観光事業との連携を考慮する必要があるかもしれない。  
(お伊勢さんを感じるみち)
- ・旧小俣町地域は、市の嘱託職員が公園管理と併せて月1回パトロールを実施している。  
(御塩づくりにふれるみち)
- ・旧二見町地域は、シルバー人材センターに委託し、月1回パトロールを実施している。
- ・御塩づくりにふれるみち等でみられる石柱は市の別事業で設置したものだが、設置部局が不明となってしまい、修繕等管理は維持課が行っている。  
(朝熊山)
- ・パトロール者から、朝熊岳道は先日の台風による倒木があり、道も荒れているという報告を受けている。

近々見回りに行く予定である。

- 「であいの広場」は伊勢市の土地であり、地元の自治会にトイレ等の清掃業務をメインとして業務委託している。その中で草刈も実施している。
- 朝熊山の登山道自体は県や個人の土地であったりするので市としての整備は難しい。
- パトロール員からの報告として、朝熊岳道で登山道以外の道ができていますので、正しいルートへの標識を設置して欲しいとの要望があった。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所		受注者	いであ株式会社	
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務		整理番号		
出席者	委託者	—		日時	平成23年9月14日(水) 10:00～11:30
	ヒアリング先	鳥羽市観光課：木下翔平氏、天田雄也氏		場所	鳥羽市役所
	受託者	いであ(株)：神宮、松田		打合方式	会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

### <施設状況>

(朝熊山)

- ・朝熊山の鳥羽市側歩道(丸山道)には、倒木や路面が荒れている場所がある。
- ・丸山道の鳥羽レストパークから少し入った場所(加茂側から)で歩道が崩れている。3年前に土のうで応急処置をしているが道幅が約1mしかなく危険である。道は林道として整備したものである。
- ・彦瀧大明神は加茂駅から丸山庫蔵寺の途中にあるが、中河内地区からの入口がわかりにくい。
- ・彦瀧大明神の利用にあたって駐車場の問い合わせがあるが付近に駐車場がないことから、2～3台程度の駐車場があるとよい。

(青峰山)

- ・青峰山は整備中なので特に施設に対する要望はないが、整備済み箇所の中なかで、石のずれや苔むした箇所があるので補修が必要である。
- ・しょうぶ園には、自由に車を駐車できる。

(答志島)

- ・答志島の南部に計画されている歩道は、海沿いにもかかわらず海が見えないことから魅力は薄いのではないかと。現在通行可能な道はほとんどない。
- ・答志島の北部に計画されている歩道は、漁港整備事業(県事業)の臨港道路と重なっているので、答志島地区から奈佐の浜付近まで道路がつながる予定である。
- ・答志島の歩道としては、桃取地区のみで周遊できる歩道にしたいと考えている。

(菅島)

- ・菅島の施設に関しては特に大きな問題はない。
- ・大山(標高236.6m)からの眺望が良いので、近畿自然歩道の中に組み込めないだろうか。

(神島)

- ・神島の施設に関しては、環境省が今年度と来年度で再整備する予定である。
- ・街中には公衆トイレがあるが、歩道を歩き始めるとトイレがないため、神島灯台または監的哨付近にトイレが欲しいという要望が地元の方や利用者から出ている。

### <利用状況>

(全般)

- ・パワースポットとして鳥羽三女神(石神さま(相差町)、伊射波神社(安楽島町)、彦瀧大明神(河内町))に来る人が増えている。
- ・ガイドボランティアの会は市内の歩道をよく利用している。



- ・鳥羽市観光協会主催で「鳥羽のおいしいハイキング」というイベントを春と秋に行っており、その中で歩道の一部を利用している。

(朝熊山)

- ・H22 鳥羽のおいしいハイキング (H22) で、丸山庫蔵寺が秋のコースに入っており、参加者は 190 人であった。
- ・彦瀧大明神に来る人が増えたが、パワースポットとしての彦瀧大明神に行くことだけが目的である人がほとんどである。

(青峰山)

- ・正福寺は海上安全の寺で、全国的に有名である。年に 1 回の催事には全国から人が集まる。
- ・H22 鳥羽のおいしいハイキング (H22) で、青峰山・正福寺が春のコースに入っており、参加者は 70 人であった。

(答志島)

- ・H22 鳥羽のおいしいハイキング (H22) で、答志島が春と秋のコースに入っており、参加者は春 230 人、秋 150 人であった。

(菅島)

- ・H22 鳥羽のおいしいハイキング (H22) で、菅島が秋のコースに入っており、参加者は 145 人であった。
- ・海島遊民クラブが菅島を利用している。

(神島)

- ・神島は鳥羽市内の他の歩道よりも利用者数が多い。
- ・H22 鳥羽のおいしいハイキングでは神島が春のコースに入っており、参加者は 150 人であった。
- ・旅行会社のツアー利用や島の旅社のガイドツアーなどで歩道が利用されている。
- ・渡りの時期になるとアサギマダラやサシバなどが見られる。

<維持管理>

(朝熊山)

- ・朝熊山の鳥羽市管理範囲は、山頂下から加茂駅の範囲である。
- ・朝熊山の歩道の管理は、青峰山と合わせて青峰文化保存会に管理委託している。

(青峰山)

- ・青峰山の鳥羽市管理範囲は、松尾から正福寺の範囲である。
- ・青峰山の歩道は、青峰文化保存会に管理委託している。管理委託の内訳は、パトロール 6 回/年、草刈 2 回/年である。

(答志島)

- ・答志島の管理は 2 地区に分けている。桃取地区は町内会、答志・和具地区は答志島旅館組合に管理委託している。管理委託費用は他と異なり、鳥羽市の単費である。答志島の歩道は、国が整備したため、三重県では管理費を出せないのではないかと？

(菅島)

- ・菅島の歩道の管理は、町内会に管理委託している。

(神島)

- ・神島の歩道の管理は、神島旅館組合に管理委託している。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所		受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務		整理番号	
出席者	委託者	藤田和也自然保護官	日時	平成23年9月14日(水) 16:00~17:30
	ヒアリング先	志摩市商工観光部観光戦略室： 井上辻明係長、刑部智早氏	場所	伊勢市役所
	受託者	いであ(株)：神宮、松田	打合方式	会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

<資 源>

(青峰山)

- ・このコースの魅力の一つは、正福寺にいけることである。

<施設状況>

(青峰山)

- ・コース途中にあるベンチのボルトがはずれている。
- ・コース沿いに土砂が崩れかけている箇所が2箇所くらいある。

(安乗)

- ・標識のボルトの腐食が多いと聞く。全体的に標識の劣化が著しい。

(大王崎)

- ・崎山公園にある園地内の四阿(大王町整備)は、コンクリートが劣化しているので使用禁止にしている。現在、撤去の方向で三重県と話をしている。
- ・崎山公園の柵のチェーンがはずれてしまっているので、応急処置としてトラロープで結んでいる。
- ・米子浜への階段(三重県整備)は、横木が腐り、レンガがボロボロに壊れて歩くと危険な状態にある。数年前から県に要望しているが動きがない。
- ・米子浜の柱が割れている。
- ・全体的に標識の劣化が著しい。

(麦崎・磯笛のみち)

- ・大野浜の看板が読みづらい。

(御座・金比羅山から富士山をのぞむみち)

- ・御座のトイレ(近畿自然歩道事業で県が設置)周りの木舗装が壊れかけている。木製品は劣化しやすいので維持管理のことも考慮した整備が必要である。
- ・御座港のトイレは杉チップを利用したバイオトイレであり、時々詰まる。

(磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち)

- ・浜島に設置されているバイオトイレのモーターが動いていない。

<利用状況>

(青峰山)

- ・青峰山は主に漁業者の信仰の山として全国から参拝者が訪れている。特に年に一度の御船祭に参拝者が集中する。
- ・利用者数などは把握していない。地元の方は杣掛の道を使用しているようである。

(安乗－志島)

- ・国府の海岸は、一年を通じてサーフィンをする人が多い。
- ・コース内に存在する施設等の利用者はいるが、コースを歩く人の話は聞かない。

(麦崎・磯笛のみち)

- ・麦崎の磯を、京都自然の家が臨海学校で利用している。

(御座・金比羅山から富士山をのぞむみち)

- ・金比羅山のルートは利用者がいる。御座側からの方が山頂に近いので、御座から登る人が多いのではないかと。

(磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち)

- ・歩道は地元の方々が健康のために歩いている。歩道を利用するために訪れる人はほとんどいないようだ。

(横山迫子線)

- ・利用者は横山を歩く人が多い。浅間山まで行く人は少ない。

### <維持管理>

(全般)

- ・維持管理は三重県からの委託費を使って個人に委託している。委託内容は、パトロールを2ヶ月に1回、草刈り及び軽微な清掃を行う。その結果は、日誌及び写真で報告されている。
- ・道路法の道路の管理は各管理者が行っている。

(青峰山)

- ・磯部町の杵掛からの道に設置されているサインについて修理の要望が上がっている。

(安乗)

- ・志摩カントリーがパークゴルフ場となった。志摩市が管理している。
- ・国府海岸付近では駐車場が徐々に広がっていくのが心配である。

(大王崎灯台をたずねるみち)

- ・米子浜のルートで土砂崩れが発生している。
- ・米子浜への支線部分は、墓地の中を通る道（本来の支線）か私有地の道があるが、私有地の道の方がわかりやすいためか、私有地の道を通る人がおり、所有者と問題になっている。支線への分岐点には標識が設置してあり、私有地を通る道には立入禁止の看板がある。支線部分を廃止してほしいという要望がある。

(麦崎・磯笛のみち)

- ・麦崎付近のコースで崩落箇所があり通行止めにし、迂回ルートを設定している。通行止めの看板は県が用意したが、看板設置者が記載されておらず、管理主体がわかりにくい。崩落箇所は民有地であるため、行政が修復することができない。
- ・大野浜付近の墓地の中を通る道は特に問題になっていないようである。

(御座・金比羅山から富士山をのぞむみち)

- ・金比羅山の道の法面が一部崩落している。

(横山迫子線)

- ・浅間山のバイオトイレは水の補給が必要である。清掃時に2Lの水を3本運んでいる。

### <その他>

(御座・金比羅山から富士山をのぞむみち)

- ・最近、イノシシが出没する。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所	受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務	整理番号	
出席者	委託者	—	日時
	ヒアリング先	南伊勢町観光商工課観光交流室： 山本高弘係長、島田雅人氏	場所
	受託者	いであ(株)：神宮、望月	打合方式
			平成23年9月13日(火) 14:00～15:00
			南伊勢町役場
			会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

### <資 源>

- ・旧南勢町では、古道の整備事業である“見登歩史(けんとうし)”事業について、民地を通過しているなどの点で問題が発生しているため、見直しを行っている。ただし、民有地の対応は苦情も多く、町レベルでは無理である。
- ・旧南島町においてもこの事業を適用し、見登歩史の整備を検討している。

### <施設状況>

(磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち)

- ・鳥越付近で土砂崩れのため通行止めとなっている。三重県には通行できないことを報告済みである。
- ・宿浦の案内標識が曲がっている(現在は修復済み)。

(南島町・親子大橋をめぐるみち)

- ・バス停付近には町で整備したトイレがある。
- ・中ノ磯展望台の解説版が色あせてしまった。
- ・中ノ磯展望台の四阿が破損している。

(鵜倉半島展望のみち)

- ・4つの展望台が整備されている。高さのある展望台を整備したことでかさらぎ湖がハート形に見えるようになった。

(相賀浦阿曾浦線)

- ・海ぼうずは、町が設置した体験学習宿泊施設で、小学校の校舎を活用している。

### <利用状況>

(磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち)

- ・地元の方々の散歩コースとなっている。

(鵜倉半島展望のみち)

- ・鵜倉園地は、伊勢新聞社所有の民地である。
- ・費浦は、かつては学校指定の海水浴場であった。今は年に一度スノーケリング大会が行われている。
- ・地元の人が散歩している。車いすの方の利用もある。

(竈方集落をめぐるみち)

- ・神前浦の人や方座浦の人が両集落の間にある地藏さんまで歩いている。その為、途中で四阿を建てた経緯がある。

### <維持管理>

- ・三重県からの委託費で町から桜井さんと山本さんにパトロールをお願いしている。

- ・ トイレのフロアの盗難や破損などにより維持管理費が高額になっている。
- ・ 看板の補修はどこが対応するのかが不明確である。
- ・ 眺望図が風水害等ですぐに破損してしまう。適宜町で直しているが、できれば環境省で対応して欲しい。

(磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち)

- ・ 南海展望台のトイレは、老人会で管理して頂いていたが、高齢化等の事情で中止になった。今年は、golfer緑化基金や緊急雇用対策などの費用で、管理を行った。

(南島町・親子大橋をめぐるみち)

- ・ 景観維持のため、樹木の伐採を一昨年環境省事業として実施した。
- ・ 展望台が一部破損していたが、県の伊勢農林水産商工環境事務所が修繕した。
- ・ ゴール付近にあるトイレは、管理委託により「泡の会」が当たっている。

(鵜倉半島展望のみち)

- ・ 年1回7月に100人が参加して維持管理を行っている。また、町が整備したトイレ、シャワーなどの管理には、「泡の会」が当たっている。
- ・ 一時期より減少したが、車で来てゴミを投棄する人がいる。

(竈方集落をめぐるみち)

- ・ 町道として管理しているが、普段は歩いている方が清掃している。
- ・ 小方竈から栃木竈は村道的な利用がされている。不法投棄が多い。
- ・ ニラハマ展望台は、一昨年補強工事を町で行った。

(相賀浦阿曾浦線)

- ・ 塩竈浜は民間企業(OBAエステート)が地元区長さんに管理を任せているが、歩道を設定したことで問題になっている。
- ・ 海ぼうずの運営は、町が区に委託している。実際は、区長さんが運営しているが、高齢化のため運営が負担になっていると聞いている。

以上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所	受注者	いであ株式会社	
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務	整理番号		
出席者	委託者	—	日時	平成23年9月13日(火) 09:00～10:00
	ヒアリング先	志摩自然学校：生賀照央氏	場所	志摩自然学校
	受託者	いであ(株)：望月	打合方式	会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・ 業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

<活動概要>

- ・ 近畿自然歩道では、船越大池と金比羅山、大王崎～麦崎周辺をガイドウォーキングで利用している。
- ・ 最近まで近畿自然歩道であることは知らなかったが、現在はウォーキングコースとして一部を利用している。

<資 源>

(船越大池周辺)

- ・ 歴史文化がウォーキングコースで一番人気がある。奥志摩には多くの円空仏像が残っているので、円空仏像ブームの際に注目された経緯がある。飛び込みで参拝ができないため、ガイドが必要となる。
- ・ 大池周辺には、イグサが自生している。湿地という環境は魅力的であるため、環境学習で活用したいと考えている(少し湿地の上を歩きたい)。国道沿いにあり、気軽に立ち寄れる湿地というのは、利用のポテンシャルが高いのではないだろうか。
- ・ 大池の奥には海女小屋が立ち並んでいる。主な利用時期は2月～9月である。
- ・ かつて、海女小屋が荒らされた経験があるため、よそ者には相当警戒する節があることから、観光スポットとして利用できない。ガイドとともに通過する程度である。
- ・ 退治崎付近は、眼下に海が広がる崖付近を歩くので、絶景を楽しむことができる。

<施設状況>

(船越大池周辺)

- ・ 大池には、池の傍に段差があるため、容易に水辺へ近寄ることが出来ないため、階段やボードウォーク的なものがあると良いと思う。

(金比羅山周辺)

- ・ 周囲の樹木が生い茂っていることから、眺望が阻害されている。眺望点であるならば、ある程度の伐採が必要なのではないか。

<利用状況>

(船越大池周辺)

- ・ 仏像という観点から、定年を迎えた世代が多い。自然散策ならば、若者もたまに参加する。
- ・ 海女小屋周辺は、漁獲物を積載したバイクや手押し車が頻繁に往来している。

(金比羅山周辺)

- ・ 景観が良いため、家族連れに人気がある。
- ・ 阿津里浜にキャンプに来た人たちが、朝日や夕日を見るために、よく利用している。
- ・ バスが1時間に1本通っているため、御座までバスで行って、周遊するのが便利と思う。御座港～浜島港の定期船は便数が減ってしまったので、現実的ではない。

(大王崎～麦崎周辺)

- ともやま公園と大王崎または麦崎間でサイクリングガイドを行っている。1回 2～3 時間程度のコースである。
- サイクリングは歩きよりも人気がある。
- 主な利用層は家族連れである。

<維持管理>

(金比羅山周辺)

- 歩道の整備は志摩市が行っている。ただし、樹木の伐採は行っていない。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所		受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務		整理番号	
出席者	委託者	—	日時	平成23年9月15日(木) 15:00～16:00
	ヒアリング先	海島遊民クラブ： 江崎 貴久代表、兵頭 智徳センター長	場所	海島遊民クラブ
	受託者	いであ(株)：青井、神宮	打合方式	会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

<施設状況>

- ・二見のカーブに設置された国立公園の記名サインは、眺望を塞いでしまっている。
- ・木の標識は耐久性の問題はあるものの、統一感があるので良いのではないか。
- ・施設整備にはその場、その場の雰囲気大切にすることが必要。
- ・少し陰しい知らない遊歩道には、観光客は足を踏み入れないだろう。

(菅島)

- ・菅島の近畿自然歩道は、山頂に看板がある程度で正確なルート地図や案内板がない。
- ・現状では港にトイレがあるのみ。ルート上にトイレや東屋はあった方がよいが、維持管理が難しいと思われる。
- ・白浜の海水浴場にはトイレがほしいが管理が大変なのではないか。

<利用状況>

- ・海島遊民クラブでは、修学旅行生や研修者のツアーの一環で菅島の近畿自然歩道（菅島と潮騒の舞台・神島をたずねるみち）を利用しており、年間利用者数は1,000人程度いる。
- ・自然歩道の山頂付近は、木が茂っていて景色が見にくいですが、水道タンク付近からの眺望はよい。ただし、必ずしも眺望のために樹木を伐採するのがよいわけではない。
- ・菅島ルートから東に外れた海岸（おんな浜？）は、非常に景観が良好であることから、安心して海岸までアクセスできる歩道にしてほしい。また、その海岸ではウミガメが産卵しているとも聞いている。
- ・鳥羽市観光協会主催により菅島の自然歩道1周8kmを歩くイベントがある。
- ・海島遊民クラブでは、答志島は磯場観察等の海域体験に利用しているが、答志島の自然歩道は利用していない。
- ・島に渡るのにチャーター便を使用することが多い。

<維持管理>

- ・菅島の近畿自然歩道は、地元の人が草刈り等の管理をしていると思われる。
- ・生活道路に使われていない自然歩道は、管理がされずに雑草が生い茂るため、維持管理の面からは生活道路と自然歩道を重複させた方がよいのではないか。一年を通して歩道を使っていないと歩道があれてしまう。
- ・環境省が国立公園をアピールするには、戦略やセンスが必要である。国立公園を示す看板が、逆に良好な眺望を阻害している例も見受けられる。近畿自然歩道を示す案内板や看板に「国立公園」を示す記入をする等のアピール方法がよいのではないか。
- ・ルートを「楽しむコース」と「感動コース（きつくてもすばらしい眺望で感動する）」の2つにするなど、利用者が選択できるようにしてはどうか。また、現状の看板や案内板では、自然歩道に足を踏み入れるべきかどうか判断できないため、案内板や看板に歩道のレベル表示をするなど（健脚レベル、お散歩レベル）など、利用者に利用してもらうための工夫が必要である。
- ・近畿自然歩道として、道をつなげさえすればよいわけではない。場の雰囲気重視、利便性重視、利益重視など、地域それぞれの特性に応じて魅力を持たせるなど、何を目的とする歩道かを明確にして整備す



るべきである。

- 管理運営については、鳥羽市観光協会、鳥羽商工会議所との連携が考えられるのではないか。
- 眺望のために樹木を伐採するのはどうか？
- 高齢化した集落では歩道まで管理していけない。車道の路肩の管理で精一杯である。

<その他>

- 菅島ルートを外れて山頂に向かうと監的哨（かんできしょう）跡があり、そこまでのルートを整備するのもよいと考えられるが、監的哨が老朽化しており安全上の問題もあることから近畿自然歩道の検討では触れない方がよい。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所	受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務	整理番号	
出席者	委託者	—	日時 平成23年9月13日(火) 16:00~17:20
	ヒアリング先	南伊勢体験ワールド(南伊勢町観光協会) : 山本光代氏	場所 南伊勢町観光協会
	受託者	いであ(株) : 神宮、望月	打合方式 会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

### <活動概要>

- ・南瀬体験ワールドでは、様々な体験メニューを実施している。  
例 養殖タイの体験、里山散策、・・・
- ・月に1回のペースでイベントを実施している。
- ・無い物ねだりは遠回りになってしまうので、地元の景観を活用したイベントを模索している。

### <資源>

- ・南伊勢の観光資源は海の幸と自然景観であると思う。
- ・景観資源としては、鍛冶屋トンネルの紅葉、ミカン畑、天然のヤマフジ、260号線沿いのサクラ、河村瑞賢公園のアジサイなどが挙げられる。
- ・南伊勢町の集落は古き良き世界が残っているようで、タイムスリップしたかのような雰囲気を持っている。

(磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち)

- ・磯浦の漁業者は、語り部やボトルシップといった町おこしを行っている。地域ごとに異なる玄関の注連縄飾りも含めて、全てが資源と考えている。

### <施設状況>

- ・トンネルのライトが切れたままの箇所がある。
- ・全般的に標識が古く、量も不足しているように思える。特に観光目線の案内標識が少ない。
- ・展望台は大雨や台風ですぐに崩れる。
- ・旧町名のままの看板もみられる。

(磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち)

- ・田曾の道路は生活道路であるが、道幅が狭く、水溜りもところどころにできている。景観以前に道路環境が悪い。

(南伊勢町・親子大橋をめぐるみち)

- ・中ノ磯展望台は、眺望確保のために樹木を伐採する必要がある。景観に配慮しなければ、利用者が減少してしまうと思う。

(鵜倉半島展望のみち)

- ・鵜倉半島では雨が降るとすぐ崩れることがある。近畿自然歩道は旧道を利用したルートが多いが、旧道であっても管理は必要であろう。

### <利用状況>

- ・旧道を使ってハイキングをしているが、歩いて海が見えない、薄暗い等の不満がある。たとえば相賀浦から南海展望台、磯浦のツアーを行ったが、眺望が無いという苦情が多かった。

- ・ 最近、内瀬や古和浦ではサルの被害が出ている。特に女性が危険な目に遭うことが多い。
- ・ 南伊勢町の観光客の目的は、釣りが8割、ミカン狩りが2割を占める。湾によって釣れる魚が違うので、いろいろな楽しみ方ができる。
- ・ 宿泊者数は減少傾向にある。
- ・ 鵜倉展望台及び南海展望台は一押しの観光スポットである。
- ・ 今年は修学旅行生の利用が増加している。
- ・ KFCみらいクラブがイベントなどの活動を行っている。
- ・ 遷宮の折から、剣峠～内宮のコースも人気がある。

(南伊勢町・親子大橋をめぐるみち)

- ・ 南海展望台は、観光客や地元の方々がよく登っている。関西及び東海地方から訪れる観光客が多いようだ。初日の出の人気スポットでもある。

#### <維持管理>

- ・ 国立公園協会が清掃活動を行っている。

#### <その他>

- ・ 海岸線の集落にはたいした高台が無い。住民は津波を覚悟して生活している。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所		受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務		整理番号	
出席者	委託者	藤田和也自然保護官	日時	平成23年8月31日(水) 18:00～19:30
	ヒアリング先	NPO法人 南勢テクテク会 中野啓二氏	場所	志摩自然保護官事務所
	受託者	いであ(株)：神宮、望月、早坂	打合方式	会議・電話

**(ヒアリングの概要)**

- ・業務の趣旨をご説明し、NPO法人南勢テクテク会の概要・活動内容、近畿自然歩道等の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

**(ヒアリング結果)**

**<活動概要>**

- ・南勢町の山を広く知って頂くことを目的に設立し、今年14年目を迎えた。現在は南伊勢町内で活動している。
- ・会員制で1,500円の年会費と参加料を頂いている。会員数はH21年度が約170～180人、H22年度は現在約140人。大阪・名古屋圏など町外の方が多い。
- ・地元の人に聞きながら古道・街道を中心に道を探して、歩道の整備、マスコミへの宣伝、ハイキング大会の開催を行っている。
- ・主な古道としては平家街道と、熊野～伊勢へ抜ける道がある。
- ・古道について、1/25,000の地図にまとめたものがある。後日、藤田保護官宛に送付する。
- ・県が市町村に委託し、NPO法人南勢テクテク会が市町村から委託を請け、歩道の整備を行っている。
- ・三重県を通じて看板を作ってもらったり、セブンイレブンの助成を使ったりして看板を購入・設置している。近年、2回ほど緊急雇用事業で実施した。
- ・近年は会員の高齢化が進んだため、活動が鈍っている。
- ・NPO法人南勢テクテク会で地図「見登歩史」をつくった。南伊勢町で入手できる。
- ・来訪者から役場に問い合わせがあり、NPO法人南勢テクテク会が対応することがある。

**<施設状況>**

- ・近畿自然歩道は旧国道をベースとして指定している。古道とは重複しないはずである。
- ・塩竈浜～阿曾浦周辺の遊歩道マップは作成済みである。後日、藤田保護官宛に送付する。

**<利用状況>**

- ・近畿自然歩道の認知度は低く利用者も少ない。
- ・南勢の山は、海と山の両方が楽しめるので人気がある。
- ・周遊コースは利用しやすく、有名な山は利用者が多い。
- ・塩竈浜の周遊コース、局ヶ頂のコースは人気がある。南伊勢町にも良いコースがある。
- ・周遊コースでなくても、イベントとしてマイクロバスで集団利用すると便利である。
- ・町営バスを利用した移動はほぼ無理だと思う。

**<維持管理>**

- ・浜島～阿曾浦の近畿自然歩道は土砂崩れのため通行止めとなっている。数年来通行止めの箇所が未だに遊歩道として残っているのは問題だと思う。

**<その他>**

- ・NPO法人南勢テクテク会が作成した地図「見登歩史(けんとうし)」を提供いただいた。
- ・毎月開催しているイベントの参加者数(近畿自然歩道に関わるもの)を提供いただいた。

以上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所	受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務	整理番号	
出席者	委託者	—	日時
	ヒアリング先	島の旅社推進協議会： 山下会長、山本加奈子事務局長	場所
	受託者	いであ(株)：青井、神宮	打合方式
			平成23年9月15日(木) 10:00～11:00
			答志港(待合室)
			会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

### <活動概要>

- ・島の旅社は、島の人たちとの交流を目的に主に街を歩いている。環境省の設置している歩道を利用する頻度は多くない。

### <施設状況>

- ・案内板や看板は現状で3箇所ある。それ以外に島の旅社が独自で方向サインを設置している。看板を充実させたり、案内板に目的施設等までの時間表示や距離表示を入れないと、答志島に来た一般の来訪者が利用しづらい(来訪者が遊歩道を歩いてみるかどうか、判断できずに利用しない場合があると思われる)。
- ・案内板や看板は、くびづか、古墳、登り口に設置されているが、文字が消えたり、木が腐っているものがあるため改善してほしい。
- ・案内板や看板を新たに設置したり改善する場合は、地元で修繕しやすい木製にしてほしい。
- ・トイレは整備してほしいが、維持管理が大変なため、維持管理を地元のボランティア任せにするのであれば必要ない。

### <利用状況>

(答志島)

- ・島の旅社では、年齢層が高い人や子供を中心とする企画が多いため、遊歩道を直接的には利用していない。
- ・答志島の遊歩道は、JRさわやかウォーキングや近鉄のウォーキングイベント等で使われており、年間利用者数は1,000人以上いると思われる。
- ・答志島の和具に来た一般の観光客は、首塚、胴塚の遊歩道をよく利用している。また、築上山遊歩道は、太平洋の絶景を楽しめるとともに、しゃもじに願い事を書いて吊るしておくという願い事がかなうと言われており、一般の観光客がよく利用している。
- ・昔整備された尾根ルートは、新道ができてからあまり利用されなくなっており、時々山登り団体が使う程度である。特に桃取地区は使われていないように思う。
- ・地元住民は海岸沿いの道路を歩く程度で、意識して遊歩道を散歩道として利用している人は少ないと思われる。
- ・答志島の遊歩道の利用者数は、ガイドボランティアや鳥羽市観光協会で把握しているはずである。
- ・一般の人が歩道を使うには、サインやパンフレットが必要なのではないか。現況では方向サインが3基と少なすぎる。

### <維持管理>

(答志島)

- ・島の旅社のグリーンツーリズムインストラクター、旅館組合の10名程度でガイドボランティアを行っている。
- ・遊歩道の管理(台風等による倒木の伐採、草刈り、簡易な案内板設置等)については、鳥羽市から補助が10万程度出ることもあるが、ほとんどは島の旅社や旅館組合の有志がボランティアで行っている。

- ・台風で木が倒れるので、島の旅社が道具を購入しボランティアで撤去している。
- ・行政機関が遊歩道を整備したまではよいが、管理を地元のボランティア任せにされており困っている。
- ・遊歩道の簡易な維持管理は、行政機関から補助を受け、地元の団体・住民等が行った方が効率的と考えられる（補助を出して地元で維持管理をやらせてほしい）。文化保存会があるのでこういったところに委託するのが良いと思う。
- ・ボランティアによる遊歩道の管理活動は、参加者が高齢化してきているため、いつまで継続できるかが課題である。

#### <その他>

- ・答志島は漁業で生計を立てている人が多く、旅館業や観光業への意識が少ないため、島内の歩道に対する興味が薄い。

以 上

## ヒアリング議事録

事業所名	環境省中部地方環境事務所		受注者	いであ株式会社
件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画 検討業務		整理番号	
出席者	委託者	—	日時	平成23年9月14日(水) 13:00~14:30
	ヒアリング先	鳥羽ガイドボランティアの会： 濱口 巖 会長	場所	鳥羽ガイドセンター
	受託者	いであ(株)：神宮、松田	打合方式	会議・電話

(ヒアリングの概要)

- ・業務の趣旨をご説明し、近畿自然歩道の現状・課題等について、ヒアリングを行った。

(ヒアリング結果)

<活動概要>

- ・鳥羽ガイドボランティアの会は、1999年10月の九鬼400年祭のイベント時の案内ガイドがきっかけで、翌2000年1月8日に発足した。
- ・2001年11月からは、現在地で、博物館の運営を行いながら活動している。

<資源>

(朝熊山)

- ・山頂から加茂に向かう道には眺望地点がない。
- ・堅神から船津に抜けるルートがあり、整備したら良いのではないかと。以前は鳥羽郷土史会、志摩郷土史会が調査していた経緯、元気再生事業で取り上げた経緯がある。

(神島)

- ・神島の灯台は、伊良湖岬側しか見えないので残念。監的岬からは伊良湖岬、大王、太平洋まで望むことができる。また、レーダー塔や灯明山の山頂からは、何も見えない。

(菅島)

- ・菅島は山頂からの景色が美しい。眺望に加え11月にはドウダンツツジが紅葉する。また2月にはベニツゲが赤くなる。ベニツゲの盗掘があり困っている。

(その他)

- ・国崎～生浦の川沿いのコースはおもしろいコースである。昔、国崎から伊勢神宮に向けてあわびを運んだ道があった。また、加茂から生浦に牡蠣を食べに行く道があった。

<施設状況>

- ・標識に目的地までの距離があると良い。標識には目的地がいくつも記載されており、目標がはっきりしない。方向標識は少なくとも中間地点と1/4地点には必要ではないかと。

(朝熊山)

- ・朝熊山には、五知、丸山、船津、堅神道などかつては多くのコースが存在した。現在はあまり使われていないため、地元のお年寄りでないとなかなかわからない。
- ・加茂駅から朝熊山への道(丸山道)には、四阿、休憩所がない。山道に入ると目印となるようなポイントがなく、あとどのくらいで金剛證寺に着くか分かりにくい。
- ・近畿自然歩道を整備した時に作られたタイルの階段は不評である。水はけを考慮する必要があるのではないかと。
- ・土砂崩れの箇所があるが迂回コースを造っただけで終わっている。危険であるため、最近は利用していない。

- ・歴史的なものなどもあるので、それらを調べ、分かりやすいような標識を追加した方が良い。

(答志島)

- ・北部のルートは平坦で歩きやすいため是非整備して欲しい。
- ・スカイラインも利用して周遊できるコースがたくさんできると利用しやすい。
- ・答志・和具地区では最近歩道が整備された。桃取地区の歩道は途中まで整備済みである。

#### <利用状況>

- ・駅を中心に、旧鳥羽町、4つの離島、加茂地区、南鳥羽（国崎、相差）で活動している。
- ・旧鳥羽町のコースでは、日和山、鳥羽城跡、樋の山（九鬼水軍ゆかりの地）等を利用している。
- ・利用者は、関西及び中京圏からが多い。
- ・離島をガイドする場合は、前もって予約をいただいている。9月の利用状況は、神島が4件、答志島が3件であった。
- ・観光協会では12回/年のイベントを行っており、鳥羽ガイドボランティアの会はイベントのガイドとして参加している。
- ・離島に行くのにハイヒールや革靴で来るお客さんがいて困ることがある。

(朝熊山)

- ・トイレがなくて困っている。昔は寺でお借りしていたが、今は借りていない。

(青峰山)

- ・この秋に登る予定である。登りやすい道である。正福寺までの往復か帰路に車道を利用する。
- ・ルートは、加茂駅を出発し、小学校のトイレを借用し、正福寺から松尾駅へ下りる場合が多い。
- ・沓掛の道も利用している。

(答志島)

- ・最近整備されたコースで、岩屋園地と築上園地はよく利用している。夏場は草が多く、マムシが心配である。
- ・和具・答志地区の歩道は訪れた人の6～7割程度が周遊しているのではないかと。
- ・桃取地区の歩道は、未整備箇所もあるので山好きな人が利用する程度である。

(菅島)

- ・菅島の歩道は、しろうご海道の利用者が多い。菅島を訪れた人の9割程度が周遊しているのではないかと。
- ・菅島の監的硝は、屋上に柵がなく危険なのでガイド時には利用していない。
- ・水道タンク横を登り大山に登り、尾根を通過して周遊するコースを最近使うことが多い。道もあるので遊歩道にしてもらえると良い。ただし、逆コースにすると迷いやすい。
- ・菅島は観光の目玉がないので利用者はあまり多くない。

(神島)

- ・よく利用している。
- ・神島の歩道は訪れた人の7割程度が周遊しているのではないかと。山に登る服装でない人や足腰が弱い人などは灯台で引き返している。
- ・神島の監的硝は、伊良湖岬から大王、太平洋までが望めるため、ガイドとしていろいろな話ができるが、立入禁止なので残念である。

#### <維持管理>

- ・歩道の維持管理は、草刈りだけでなく道の手入れが必要であろう。みず道となり歩きづらくなっている箇所がある。

(朝熊山)

- ・以前、市からの請負で、パトロール、草刈りを1年に6回行っていた。

(青峯山)



・地元の方がパトロールを担当しており、ある程度維持・管理されている。

(答志島)

・地元の旅館組合が管理している。眺望を確保するために樹木を伐採している。

<その他>

(菅島)

・菅島には採石場があるので、答志島、神島に比べると、観光に依存する必要がない。

以 上